

行雲流水

No.270 令和4年11月24日発行

「勝負に至るプロセス」から学ぶこと

校長 寒河江 正人

「優勝2連覇」の興奮から4日。
北村山チームの皆さん、おめでとうございます。

「第38回山形県女子駅伝競走大会」が11月20日（日）、
上山市本庄地区公民館前をスタートとし、**5区間・20.5km**、山形メディアタワー前を
ゴールとして、全**11チーム**で競われました。

レース前の予想では、「**連覇を狙う北村山を中心にレースが動きそうだ。**」とのこと。

第1区の森谷乙葉さん（山形城北高）が、トップと17秒差の4位で襷（たすき）を繋ぎ、
第2区の本間未来さん（カープSMOR | 東根）が、区間1位の好走で2位に順位を上げ、
第3区の廣田菜々美さん（神町中）が懸命に駆けて先頭を抜き去り、トップに立ち、
第4区の斎藤芽衣さん（東根一中）で先頭的位置を維持し、19秒差でアンカーに繋ぎ、
第5区の伊藤芽衣（酒田南高）が2位に20秒差のトップでゴールしました。

本校の3年生、**廣田菜々美さん**が、勢いよく駆けて、トップを抜き去って、先頭に立ち、
次の走者に襷（たすき）を渡す姿に力強さ、たくましさを感じました。

そして、本校の卒業生、**伊藤芽衣さん**が、「2連覇のVサイン」高く、力強く掲げながら、
ゴールテープを切る姿が、実に感動的でした。

本校の生徒、教職員の多くが、じっとその姿を見守っていました。
その姿に**勇氣と感動**をもらいました。ありがとう。

廣田菜々美さん、ここに至るまでの「**あなたの努力のプロセス**」を大いに称えたい。
おめでとう。

そして、忘れてほしくないのは、たとえ勝っても負けても、「**そこに至るプロセス**」で
「**何を経験して、何を学んだのか、今後の人生に生かせることは何なのか。**」ということ。
だからこそ、参加したすべての選手、すべてのチームに「**称賛の拍手**」を贈りたい。